

<p>年配の人は、昭和 30 年代くらいまで、この川で泳いだ経験をもつ。</p>	<p>現在の子どもたち（小学生たち）は、年に 2～3 回ある、川に親しむイベントにわりあい積極的に参加しており、それを楽しんでいる。</p>	<p>現在の子どもたち（小学生たち）のほとんどは、イベントのとき以外この川に近づくことはない。</p>	<p>現在の子どもたち（小学生たち）のうち、小学校 5、6 年の一部の子どもたちは、この川で（親に内緒で）多少危険な遊びをしている。</p>								
<p>昭和 50 年代に行われたこの川の改修工事について、当時の人たちの多くは、洪水防止に役立つとして賛成した。</p>	<p>昭和 50 年代に行われたこの川の改修工事について、現在の年配の人たちは、「あの仕事をきっかけにみんな川に寄りつかなくなった」と考えている。</p>	<p>昭和 20 年代の記憶として、何人かの人が、カニ獲りについて話してくれた。</p>	<p>年配の人たちが昔の川について語る時、必ず、そのころ仲良かった友だちの話になる。</p>								
<p>再改修計画についてのアンケート結果</p>  <table border="1" data-bbox="71 672 399 896"> <caption>再改修計画についてのアンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>賛成</td> <td>45%</td> </tr> <tr> <td>反対</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>どちらとも言えない</td> <td>25%</td> </tr> </tbody> </table>	回答	割合	賛成	45%	反対	30%	どちらとも言えない	25%	<p>再改修計画については、税金の無駄遣いではないかという意見が住民の中に少なからずある。</p>	<p>住民の川への思いは、単純でなく、さまざまなものが入り混じっている。</p>	<p>この川の正式名称は△△川だが、住民の多く（とくに年配者）は“カエル川”と呼ぶ。カエルが多いからだという。</p>
回答	割合										
賛成	45%										
反対	30%										
どちらとも言えない	25%										
<p>毎年 1 回行われている「クリーンアップ（川掃除）作戦」では、町内会を中心に、毎回 30 名くらいの参加者を得ており、参加者は熱心だ。</p>	<p>午前中は、犬の散歩で利用する人が多く、川辺で愛犬家たちが言葉を交わしている姿をよく見かける。</p>	<p>再改修で、子どもたちがより川に親しめるようになったらいい、と若い親の多くは語った。</p>	<p>インタビューでは多くの人が再改修への関心を語ったが、実際に行政が行った「住民検討会」に参加した住民の数は少なかった。</p>								
<p>行政の「住民検討会」へ参加しなかった理由として、「どうせ行政は計画を変えないだろうから」、「行政に対する不信がある」という意見を述べる人が複数いた。</p>	<p>実際に行政の「住民検討会」では、司会を担当した人がうまかったこともあり、好評だった。</p>	<p>住民検討会では、「ホタルが棲む川にしてほしい」という要望がたくさん出された。しかし、この川にホタルがいたという記録はない。</p>	<p>住民のなかには、ひそかに川辺にハスを繁殖させている人がいるが、それに対し、他の住民のなかには好意的な人もいれば、嫌う人もいる。</p>								
<p>年配の人たちのなかには、改修工事以来、カニの数がめっきり減ったと嘆く人たちもいる。</p>											